

令和6年度

社会福祉法人植竹会 事業計画

# 社会福祉法人 植竹会 法人理念

子供達のゆたかな成長を支援し、高齢者のゆたかな老後を支援する

## 令和6年度植竹会事業計画

近隣の社会福祉法人や民間会社や事業所、住民との連携を密にし、地域の活性化を図る。地域の中での役割を十分に果たせるよう、地域のニーズをくみ取り活動に活かしていく。

- ゆたかごはん(こども食堂に独居老人の参加・多世代交流の場)
- ホームスタート(家庭訪問型子育て支援)及びボランティア養成
- 認知症講座(豊受小学校) ○認知症サポーター養成講座
- 知ってもらおう介護の仕事(県老協事業)
- 群馬県ふくし総合相談支援事業(平成30年7月～)
- 災害福祉支援ネットワークへの参加と群馬県災害福祉支援チーム員(DWAT)登録及び活動○ボランティア養成講座
- 災害時の訓練(地域巻き込み型)
- BCPに基づいた地震の避難訓練実施
- 社会福祉法人との連携

## 令和6年度 事業計画

ゆたか保育園  
ゆたか第二保育園  
ゆたか児童クラブ  
親子通園事業

子どもを取り巻く環境の変化に対応できるよう、職員の資質向上を図っていく。職員及び子ども達は、経験不足な部分が多くある為、出来るだけたくさん体験や経験ができるような環境設定を行っていく。子どもを中心に置き、子ども達自ら行動できるような対話ができる機会も設ける。

子どもの減少に伴い、定員の充足が厳しいと考えられるので、地域に子育て家庭が増える、この地域で子育てをしたいと思ってもらえるような地域へのアプローチも考えていく。職員に関しても、保育に関する研修だけでなく、事業の運営や地域への関わり方、キャリアアップなどの研修も参加してもらい機会を多くする。

親子通園に関しても、制度改正に伴いペアレントトレーニングの実施が加わるので、親子通園の職員だけでなく、他の職員も積極的に参加することで、こども園、児童クラブでの保護者支援の向上に役立てる。

子どもの部門の処遇を均一化し、すべての職員が法人の保育の部分に関われるよう、普段より連携を密にしていく。

介護施設の利用者の方との交流も引き続き行いながら、地域の方と関われる園庭開放なども積極的に行っていく。

SDGs プログラムに関しても、前年度に引き続きプログラムに取り組むとともに、沖縄や北海道の契約農家の方と zoom でつなぎ、果物の成長や試食、農家の方との交流プログラムを実施する。田植えも引き続き行う予定であり、他にも地域の方のご厚意により、ジャガイモ堀なども提案していただいているので、子ども達が体験していきたい。

給食に関しても前年度は月に一度、外国のメニューに触れる機会を作ってもらった。今年度は、郷土料理や地域のメニューなどに触れる機会をつくる。

保育に関する仕事に興味のある方に関しては、積極的に現場の職員と触れる機会や、実習生を受け入れ、保育の楽しさを知ってもらうようにする。

引き続き、SNS を使った保育の発信も行っていく。

地域には、様々な人的、物的財産が有るので、地域のネットワークを活用して、地域づくりに参加できるようにする。

## 令和6年度事業計画

社会福祉法人植竹会

親子通園事業

心身の発達が気になる子や育児に不安のある保護者を親子で受入れ、様々な活動を行いながら、日常生活における基本動作を学ぶ。また、保護者の子育ての悩みや相談を聴き、保護者支援を行う。

30回利用する中から、地域の子育て機関へ繋げるような支援も同時に行う。また、利用中の保護者支援及び利用後の保護者のフォロー利用として、土曜広場を開催する。年間計画の中にペアレントトレーニングを実施する事で、育てづらい子どもを持つ保護者に、子どもの良さを見ていく事で、子どもの健全な発達を促すようにする。

# 令和6年度事業計画（支援内容）

今年度の取り組みについて記入。

## 1. 支援内容について

### A. 放課後児童の健康管理、安全管理、及び情緒の安定について

登園時に視診を行い、異常を感じた際は適切な対応をとる。また、利用中の児童の様子を注意深く観察し、異変がある場合は、適切な対応をする。感染症対策のため、手洗い、うがいの徹底、室内の換気をこまめにおこなう。屋外遊具、室内玩具、備品の点検を毎日行い、危険な箇所は速やかに修理等対応する。遊ぶ際には、事前にルールを確認をし、適切な遊びができるような支援を行う。一人ひとりの児童に合った対応をする事により、情緒の安定を図る。

### B. 遊びの活動への意欲と態度の形成について

児童の遊びに積極的にに関わり、遊びの活動が盛んに行われるようにする。また、児童が考え、企画、実施できるような話し合いの場を設け、様々な遊びや体験ができる様補助する。

### C. 自主性、社会性及び創造性を培うための指導について

児童の発言や行動について、否定をするのではなく、見守り、自ら考える事により、自主性を育てる。異学年での関りにより、コミュニケーション能力を育てる。様々な体験や遊びから創造性を培う活動が行われるようにする。

### D. 家庭や地域での遊びの環境づくりに関する事について

地域の活動に積極的に参加し、また、児童クラブでの活動を発信する事で、地域や家庭での関りに繋げてもらえるようにする。地域の様々な人と関わられるよう、ボランティア活動などにも参加できるような環境を作る。

## 2. 支援員等の資質向上への取り組みについて

研修に積極的に参加し、現場で実施できるようにする。また、職員間で情報共有をし、よりより保育を行う為の会議を設ける。気になる子、支援の必要な家庭など、研修などから学ぶことで、職員の資質向上につなげる。

## 3. 新年度の事業計画に反映された改善点

児童自ら行事の企画を行い、様々な体験ができる様に補助し、成長できる環境づくりを行う。ルールなどの決まり事も児童が考え実施しやすい環境作りを図る。

社会福祉法人 植竹会  
特別養護老人ホームゆたか他（高齢部門）  
令和6年度 事業計画

特別養護老人ホームゆたか  
（ユニット型地域密着型特別養護老人ホームゆたか含む）  
（ゆたかショートステイ含む）

ゆたかデイサービス

ケアハウスうえたけ

ゆたか居宅介護支援事業所

伊勢崎市地域包括支援センター豊受  
（伊勢崎市高齢者相談センター豊受）

**基本方針（高齢部門）**

- （1）高齢者と共に社会全体の構成者として個人を尊重し、人間らしさの追求をめざした生活の場とする。
- （2）利用者が自立意識を維持し、また高めるように、利用者の生活に総合的に関わりまた援助し、且つゆったりとした生活ができるように環境を整える。
- （3）地域福祉の拠点として、その役割と責任を担う意識を高め、行政、住民、地域社会、団体等と協力できるようにする。

## 令和6年度 事業計画（高齢部門全体）

### テーマ：「コロナ明けの福祉実践」

コロナ感染症が5類指定となり、今後は人の交流も含めて動きが活発になると思われる。今後の感染抑制対策も早め早めで対処することを心掛ける。社会福祉法人としては、保育（児童育成）と高齢者介護（高齢者の生活支援）の福祉的専門性を高め、毎日の理論と実践を通し地域貢献し、今後も地域づくりの活動に参画する。地域住民の生活課題の解決に向けた支援を行う機関としての役割を担い、地域共生社会の実現において不可欠な存在であることを認識し行動する。創意と工夫、知恵を出し合い、今後も利用者や地域に対して有益な事業形態を考え、多様化する社会や地域にマッチした福祉を創造し、地域福祉向上に努める。

#### 重点課題

- コロナ対応をしつつ、福祉専門職として、理論の習得と実践を通し、介護や生活支援の技術やスキルを高める。
- 外国人労働者や元気な高齢者（アクティブシニア）など多様な働き手の採用を今後も行い、多様性を意識した組織づくりを進める。
- 地域住民が集い交流する場の創造提供や地域住民に対する福祉に関する研修会の開催など、地域住民の地域福祉活動への参加を促進するための取り組みを行う。
- 施設設備や専門的人材などの資源を活用して、住民に身近な地域における総合相談支援と取組実践は継続する。
- 生活困窮者に対する支援活動や取り組み、中間的就労や就労訓練、生きがい就労などの働く場の提供等の機会を作る。
- 社会が求めるSDGs（持続可能な開発目標）に社会福祉法人として取り組み、植竹会としての具体的事業の17項目について整理する。



○法人施設の ICT（情報通信技術）化を今後も進め、職員の業務負担軽減と利用者や家族への情報提供を進める。

### 具体化

○人財の確保、育成、定着

求人方法の多様化させ、日常から施設に関わる人財を今後も増やす。階層別研修、専門職研修、管理職研修等を進める。

○チームマネジメント

チームで仕事をするための組織づくり、スタッフ同士の相談や困りごと等話し合いや共有できる場や機会を作る。

○業務の見える化と ICT 化

業務効率化に向け業務プロセスを洗い出し見える化する。マニュアルの見える化（画像や動画マニュアル作成）、ICT（情報通信技術）の活用場面を増やす。

○広報活動

ホームページや SNS（Facebook、Instagram、Twitter、YouTube 等）での広報活用、動画の活用、スタッフコーナー作成、福祉大や市社協等ボランティア育成、情報提供をする。

○地域に向けた活動

地域各種団体との接点はもち、地域活動を推進する。子ども食堂や知ってもらおう介護の仕事（四中）等、地域への種まきを増やす。

○防災対策や感染対策への取り組み

災害対策や施設の BCP（事業継続計画）見直し継続のために、地域も巻き込んだシミュレーション訓練を目指す。近隣との平時からの取り組み、法人連携や地域住民組織との防災の取り組みを今後も進める。

## 特別養護老人ホームゆたか 事業計画

(ユニット型地域密着型特別養護老人ホームゆたか及びショートステイを含む)

### ○利用者が自立意識を高め、快適な生活環境をつくる

常に利用者の状態と能力の把握に努め、その方ができることを継続できるように関わる。生活歴や趣味趣向等を知り、それを活かした個人活動や集団行事へも反映させる。引き続き感染対応をし、個別外出や個別活動を家族も参加し行う。LIFE への情報提供を行い、フィードバックを受け、介護現場へ反映、利用者の支援に役立てる。安心できる生活空間の継続を目指したい。

### ○介護事故ゼロを目指す

介護技術やスキルの向上を図り、利用者の安全に配慮し事故を減少させる。リスクマネジメントの観点から起きた事故の多角的分析を行い、職員間、部署間での情報共有（ビデオも使い）を図り、事故の再発防止に努める。

### ○職員育成のために継続的な資質向上を目指す

オンラインも含めた研修会や勉強会へ積極的参加を行う。習得したことを日常のケアの中で積極的に活かす。

### ○職員の離職防止・定着を目指す

職場内のコミュニケーションを活性化し、各職員が活躍できる職場を目指す。情報共有を積極的に行い、職員間の関係性を良好に保つようケアラボやラインワークスを多用する。ICT化で情報共有を高め、業務の効率化、負担軽減等を目指し、職員のエンゲージメント向上を目指す。

### ○認知症や自立支援への取り組みをする

記録の電子化で家族との情報の共有を高め、利用者や家族の満足度向上を今後も図る。施設の概要、介護知識や技術を SNS 等で発信しての広報活動を進める。

## ゆたか居宅介護支援事業所 事業計画

- ケアプランの質の向上を図り、利用者の尊厳を尊重し住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、生活全般を支える体制を整え、QOL向上を目指す。

適切なケアマネジメントが実践できるよう、継続してアセスメントや評価を行い、支援内容等について検討を重ねる。また、専門職等との連携を図りながら、インフォーマルな方々や近隣関係者を含めたプラン作成と支援を行う。研修へ積極的に参加し知識を深め、事業所内の情報共有を積極的に行う。

- 地域の関係者や団体等との連携を通し、積極的に関係作りを行う。

利用者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、日頃から連携を図っていく。

また、災害時も必要な福祉サービスが継続的に提供できる体制を構築できるよう、業務継続に向けた計画等の算定や研修、訓練を実施していく。

- 地域福祉のニーズを把握に努め、情報提供や啓発活動を行っていく。

地域住民、関係団体等への情報提供・啓発活動を通し、ニーズの把握に努めていく。

- 令和6年度の介護保険改正に伴い、制度の変更に合わせ柔軟に対応していく。

## ケアハウスうえたけ 事業計画

目標:利用者がその人らしい生活を送れるように、QOL 向上に努める。

- 利用者1人1人とのコミュニケーションを通し、信頼関係を形成する。  
心身や体調の変化に早期に対応できるように家族との情報共有に努める。
  
- 週1回のリハビリ体操とレクリエーション、脳トレを通して、  
フレイルを予防しADLの維持向上を図り、心身共に健康で長くうえたけ  
で生活できるように努める。
  
- ふれあい農園など、地域とのコミュニケーションの機会を設け、コ  
ロナの感染状況を見ながら外出行事を開催し、施設内に留まらない  
楽しみを提供出来るように努める。
  
- 職員は研修会等に積極的に参加し、情報交換やネットワークの形成に  
努めケアハウス職員としての知識を共有できるように努める。

# デイサービス 事業計画

## 目標

利用者個人の意思を尊重し、利用者の立場に立ったケアを実施する。心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消、家族の身体的、精神的負担の軽減を図る。感染症対策に努め、利用者の安心と安定した在宅生活を支援する。また、地域に密着し信頼されるサービスを展開していく。

## サービス提供方針

- 利用者の能力や可能性、要望等に基づいた計画、評価を行いながらサービスを提供し、利用者、家族が安心して在宅生活が継続できるように援助する。
- 多職種や地域とも連携を図り、安全で快適なサービス提供に努める。
- 感染症対策や災害時対策を講じて、安心してサービス利用ができるように努める。
- 接遇及び職員の資質向上に努め、職場環境を改善しながら、ゆとりある気持ちで支援が行えるように努める。
- 職員間の情報共有を高め、経費節減に努め、効率的、効果的な仕事をする。

# 高齢者相談センター豊受(地域包括支援センター豊受)事業計画

## 1. 介護予防・日常生活支援総合事業

### ア. 介護予防・生活支援サービス事業

#### ①介護予防ケアマネジメント事業

### イ. 一般介護予防事業

#### ①介護予防把握事業

#### ②介護予防普及啓発事業

## 2. 包括的支援事業・任意事業

### ア. 一般管理

#### ①地域ケア会議事業

### イ. 総合相談支援事業

#### ①総合相談支援事業

### ウ. 権利擁護事業

#### ①成年後見制度の利用促進

#### ②老人福祉施設等への措置の支援

#### ③高齢者虐待への対応

#### ④困難事例への対応

#### ⑤消費者被害への対応

### エ. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

#### ①包括的・継続的なケア体制の構築

#### ②地域における介護支援員のネットワークの活用

#### ③日常的個別指導・相談、支援困難事例等の介護支援専門員の支援

### オ. 在宅医療・介護連携推進事業

### カ. 生活支援体制整備事業

### キ. 認知症総合支援事業

## 3. 指定介護予防支援事業及び介護予防ケアマネジメント

## 令和6年度 行事計画 (2F)

月	行事	内容	備考
4月	お花見 中庭散策	近所を散歩しながら花見をし、季節感を味わっていただく	
5月	外出	端午の節句、鯉のぼりの見学	
6月	おやつ作り	職員と共におやつを作って頂き、飲食と共に語らいを楽しむ	
7月	流しそうめん	流しそうめんを食して、涼を味わう	
8月	かき氷	季節を感じながら、効果的に水分を摂っていただく	
9月	敬老会	長寿のお祝いを、ご家族と共に楽しんでいただく	
10月	ゆたか祭り	ご家族・地域の方々との交流をはかり、お祭りの雰囲気を楽しんでいただく	
11月	おやつ作り	職員と共におやつを作って頂き、飲食と共に語らいを楽しむ	
12月	クリスマス会	職員がサンタクロースに扮して、プレゼントを贈呈する	
1月	新年会	新年を迎えた喜びを、お茶の飲みながら語り合う	
2月	節分	職員が鬼に扮して豆まきを行う 春の訪れが近い事を実感していただく	
3月	お花見 外出	ドライブ又は散歩を通して、季節の花を鑑賞し、季節感を味わって頂く	

令和6年度 行事計画 (3F)

月	行事	内容	備考
4月	お茶会	3F ベランダにて、日光浴をしながらおやつ、お茶を飲む	
5月	鯉のぼり作り ガーデニング	鯉のぼりを作る あさがおの種をまく	
6月	手作りおやつ (フルーチェ)	数種類のフルーチェを用意し、好きな味を 食べてもらう	
7月	あさがおの鑑賞会	育てたあさがおを見る	
8月	ミニまつり	くじ屋、輪投げなどのゲームを用意	
9月	手作りおやつ (あんこ系)	おしるこ、あんみつなど簡単なおやつ作り	
10月	上映会	とらさん など	
11月	手作りおやつ	簡単なおやつ作り	
12月	クリスマス会	手作りカードをプレゼント 写真撮影を行う	
1月	書道教室	書き初めと、お茶会を行う	
2月	上映会	昭和歌謡曲など	
3月	お花見	小学校の桜を見に行く	



令和6年度 行事計画（ユニット）

月	行事	内容	備考
4月	お花見	近隣の小学校や公園に行く	
5月	外出	鯉のぼり見学（赤堀）	
6月	映像鑑賞	共同フロアにてプロジェクターを使用し鑑賞する	
7月	七夕	利用者様に短冊を書いていただき、フロアに飾り季節感を感じていただく	
8月	かき氷	ユニット共同フロアにて、かき氷実施	
9月	敬老会		
10月	秋祭り		
11月	歌唱会	共同フロアにて、職員・利用者様にて季節の歌謡を聴く・歌う	
12月	クリスマス会	フロアを飾り、季節感を感じていただく 職員によるプレゼント贈呈	
1月	新年会	新年を祝い、皆様でお茶会をする	
2月	節分	職員が、鬼に扮し豆まきを実施	
3月	映画鑑賞	利用者様にアンケートをとり、好きな映画を鑑賞。軽食を提供する	

令和6年度 行事計画（新館）

月	行事	内容	備考
4月	お花見	近隣の小学校にて花見をする	
5月	母の日	手作りカードのプレゼント	
6月	父の日	手作りカードのプレゼント	
7月	流しそうめん	流しそうめんを食し涼を味わう	
8月	かき氷	夏の季節感を味わっていただく	
9月	敬老会	長寿のお祝いを、ご家族と共に楽しんでいただく	
10月	映画鑑賞 秋祭り	利用者の好みを聞き、映画鑑賞する 季節行事	
11月	手作りおやつ	利用者と職員が一緒におやつを作り、味わっていただく	
12月	クリスマス会	年末の季節感をサンタと楽しんでいただく	
1月	新年会	甘酒と和菓子を食しながら、新年を祝う	
2月	節分	無病息災を願う豆まきと、福茶を味わっていただく	
3月	ひな祭り	お雛様を作成する。メイクをして写真をとる	

令和6年度 行事計画（デイサービス）

月	行事	内容	備考
4月	節句作り(鯉のぼり) パンの選択制	鯉のぼりを作成する パンの日になんで、パンの中身を選択制にする	
5月	母の日 菖蒲湯	カーネーションを作り、催しを行う 端午の節句の催しを行う	
6月	おやつバイキング 父の日	選択制おやつ カーネーション(黄色)を作り、催しを行う	
7月	七夕飾り アイスクリームパーティー	短冊に願い事を書き、竹に飾る 暑い日乗り越えるため、トッピング等を選ぶ	
8月	納涼祭	夏祭りレクリエーションを行う	
9月	敬老会	敬老の日のお祝いで催しを行う	
10月	運動会 ハロウィン	運動系のレクリエーションを行う かぼちゃクッキーを型抜きして焼き、食べる 仮装などを行い、催しを行う	
11月	ガーデニング 温かい飲み物会	チューリップの植え付け 冬を迎える準備で温かい飲み物を選んで飲む	
12月	忘年会 ゆず湯 クリスマス会	数種類の鍋を1日交代で味わう 冬至の催しを行う クリスマスカードの作製とお祝いをする	
1月	上毛カルタ大会 新年会	上毛カルタ等を行う 今年の抱負を祈願する	
2月	節分会 ひな祭り	職員が鬼になり、豆まきを行う ひな祭り関連の制作を行い、飾る (当日、美容イベント(ネイルやメイクアップ等)実施)	
3月	花見 おやつバイキング	送迎時に桜見物をする 選択制おやつ	

令和6年度 行事計画（ケアハウス）

	行事名	内容	費用	備考
毎月	リハビリ体操	DVD を使ったのリハビリ（30分程）		週1回
	レクリエーション	クイズや脳トレ等、月によって考える		月3～4回
	制作	折り紙や工作など制作活動を行う。	年間～3000円程	月1回
	個別外出	買い物や散策を行う。（各回2～3名ずつ）		月1～2回
3カ月毎	うえたけカフェ	ドリンクとお菓子を提供するカフェを開く	3000円	4月、7月、10月、1月
	スイーツの日	焼きまんじゅうやケーキなどを頼んで食べる	おやつ代は自費	5月、8月、11月、3月
4月	誕生会	4月の誕生者のお祝い	食事代は自費	高橋・中澤
	外出行事	赤堀せせらぎ公園 こいのぼり散策		
	料理クラブ	おやつ作り	2000円	
5月	誕生会	5月の誕生者のお祝い	食事代は自費	今井
	買い物ツアー	SEIYU 茂呂店（予定）		
6月	誕生会	6月の誕生者のお祝い	食事代は自費	五十嵐（セ）
	料理クラブ	おやつ作り	2000円	
	富塚町老人会交流会	野菜の収穫		
	外出行事	あずま水生植物公園 花しょうぶ散策		
7月	誕生会	7月の誕生者のお祝い	食事代は自費	五十嵐（悦）
	七夕	七夕飾りを行う		
	買い物ツアー	百菜館（予定）		
8月	誕生会	8月の誕生者のお祝い	食事代は自費	竹田・坂庭
	料理クラブ(夏祭り)	やしそば・かき氷を作って夏祭りの気分を味わう	3000円	
9月	敬老会	長寿を願い、皆様でお祝いする	3000円	
	買い物ツアー	SEIYU 茂呂店（予定）		
10月	誕生会	10月の誕生者のお祝い	食事代は自費	内山
	ハロウィン	仮装して写真を撮る		
	外出行事	もみじ狩り		
11月	料理クラブ	おやつ作り	2000円	
	買い物ツアー	フレッセイ（予定）		
	お食事会	好きな昼食を選び、召し上がる。	食事代は自費	
	馬見塚町作品展	作品の出展		
12月	冬至	ゆず湯		
	クリスマス会	クリスマスパーティー お食事会	2000円	
	富塚町老人会交流会	野菜の収穫		
1月	初詣	飯玉神社にて参拝を行う。		
	新年会	新年のお祝いを行う。 お食事会	2000円	
	買い物ツアー	スマーク伊勢崎（予定）		
2月	誕生会	2月の誕生者のお祝い	食事代は自費	笠松・啓子
	節分	節分		
	料理クラブ	チョコレートのおやつ作り	2000円	
3月	誕生会	3月の誕生者のお祝い	食事代は自費	さく・イセ子
	外出行事	伊勢崎みらい公園 河津桜散策		高柳・林
不定期	保育園児交流会	ゆたか保育園の園児と交流を行う。		